

子育てしやすいまちを目指して

認可保育所の整備を計画

国家戦略特区を活用し、都市公園内に保育所を整備

新たな取り組み

事業経費

18億5,222万円

◆事業内容

- 保育需要に迅速に対処するため、民設民営による保育施設の整備などにより、約1,000人の認可保育所定員の増を図ります。
- 国家戦略特区を活用し、緑豊かな都立木場公園内に認可保育所を整備します。

◆スケジュール

開設時期	所在地	定員数	備考
平成30年4月	計画中	計 約1,000人	平成30年4月の開設に向け、認可保育所を整備 ※ 開設場所、施設数(定員)については、保育需要の状況に応じて決定

◆「都立木場公園内保育所」整備概要

<整備計画>

所在地等 木場4・5丁目
(木場公園 大横橋口北側)

定員総数 130人

開設時期 平成30年4月(予定)

<整備スケジュール>

平成28年度 運営事業候補者公募・選定

平成29年度 施設整備工事

平成30年4月 開設(予定)



都立木場公園内保育所 完成イメージ

◆平成28年度整備実績(平成29年4月開設)

施設名	所在地	定員数	備考
ナーサリールーム ベリーベアー深川冬木	冬木	200人	首都高速道路株の協力を得て、同社が管理する土地を、区が保育所整備用地として確保
マミー保育園東陽町	東陽二	121人	大規模マンション開発と連携して整備
小鳩保育園 清澄白河	白河三	45人	近年、保育需要が高い白河地区に緊急整備

上記を含めた新規開設する9園をはじめ、既存保育施設の定員構成の見直し等により、1,000人を超える認可保育所定員の増を図りました。

長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育計画課
窓口：3階12番奥

電話：3647-9638
内線：2791

南部地域における幼児教育・保育需要に対応
(仮称)有明北3-1街区認定こども園を整備
 民間事業者と協力し、平成32年度の開設を目指します！

新たな取り組み

事業経費

— 円

◆事業内容

- 南部地域における年少人口の増加に伴う幼児教育・保育需要増に対応するため、臨海副都心有明北3-1街区に私立の認定こども園を整備します。
- 有明北3-1街区のマンション建設の一環としてマンション建設事業者が整備し、区が寄附を受け認定こども園として活用するもので、公共施設整備協力金(※)から減額する予定です。

※ マンション建設により必要となる公共施設への受入等の対策を講じるために区に納付するもので、公共施設整備に協力した場合は減額する場合あり

◆目的

南部地域における年少人口の増加が今後も続くことが予想されるため、本地域における教育・保育需要に対応し、こどもが安全かつ健やかに成長できる環境を整備します。

◆整備概要

名称	(仮称)有明北3-1街区認定こども園
所在地等	有明二丁目1番の一部(臨海副都心有明北3-1-A街区内)
類型	幼保連携型(幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、一体的に運営)
定員・対象年齢	310人(予定)、0~5歳
整備内容(予定)	構造 地上3階建・鉄骨造 延床 園舎 約2,824㎡、園庭 約944㎡ フロア 1階:エントランス、駐車場 2階:職員室、調理室、保育室等 3階:遊戯室、会議室、保育室等
運営主体・方法	学校法人武蔵野大学(予定) 民設民営(園舎等は区が事業者へ貸付)
スケジュール(予定)	平成29年 5月 着工 平成31年10月 竣工 平成32年 4月 開設



認定こども園での教育活動(イメージ)

◆実績(幼保連携型認定こども園)

開設	施設名	所在地
平成23年4月	しののめYMCAこども園	東雲一丁目9番46号
平成27年4月	豊洲めぐみこども園	豊洲六丁目2番30号

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：学務課
 窓口：6階2番

電話：3647-9703
 内線：3328

有明地区の児童・生徒増加に対応
(仮称) 第二有明小・中学校を新設

区内初！施設一体型の小中一貫教育を実施します！

事業の拡充

	事業名	29年度	総事業費
事業経費	(仮称)第二有明小学校整備事業	108億9,561万円	179億7,199万円
	(仮称)第二有明中学校整備事業		

◆事業内容

- 児童・生徒の増加に対応するため、(仮称)第二有明小・中学校(同一敷地内に併設される「施設一体型」)の新設に向け、着実に工事を進めています。
- 区の地場産業である木材を可能な範囲で使用する“江東区らしい学校施設”とするため、建物の木質化(※1)に加え、区内初の試みとして、建物の一部を木構造(※2)とします。
- 9年間の学びの充実を目指し、区内初となる小中一貫教育を実施することとし、義務教育学校として平成30年4月に開校します。

※1 木質化:建築物の内装及び外装の全部または一部に木材を使用すること

※2 木構造:建築物の主要構造部(柱、屋根、壁、床、梁等)の全部または一部に木材を使用すること

◆目的

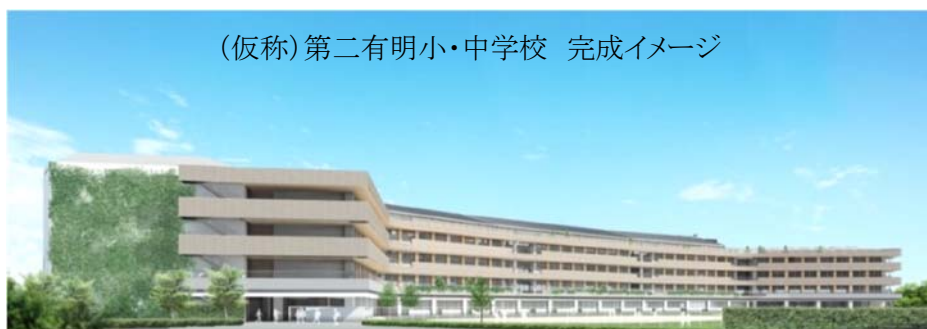
マンション等が急増する有明地区において、児童・生徒の良好な学習環境の確保を図ります。

◆整備概要

所在地	有明一丁目7番13号
敷地面積	20,184.66㎡
延床面積	校舎 約25,000㎡
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造及び木構造、5階建て (小学校・中学校 施設一体型)
竣工予定	平成30年2月
開校予定	平成30年4月
その他	普通教室各24学級、特別支援3教室、プール×2、屋内運動場×2、江東きっずクラブ(※)

※江東きっずクラブ:学校施設などを活用し、放課後等に児童が安全で安心して過ごすことのできる居場所・生活の場

(仮称)第二有明小・中学校 完成イメージ



◆他区の状況

義務教育学校の設置は
品川区に続き2例目

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：庶務課・学校施設課
窓口：6階1番・6階8番電話：【庶務】3647-8542 【学校施設】3647-9173
内線：【庶務】3323 【学校施設】3271

中学生の部活動の夢を応援

江東区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進

「パナソニックセンター東京」と連携し、五輪の起源などを学びます！

新たな取り組み

事業経費

2,023万円

◆事業内容

- 東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、全市区町村で最も多くの大会会場が整備(※1)される江東区的环境を生かし、全てのこどもたちの心に残る体験活動を中心とした、「江東区オリンピック・パラリンピック教育推進計画」(※2)に基づく独自の教育活動を実施します。
- 「部活動☆夢応援プロジェクト」として、オリンピック・パラリンピアン等を部活動に招き、生徒がその道の達人から直接指導を受けます。
- 「パナソニックセンター東京」(※3)と連携し、オリンピック・パラリンピックや世界の国々(「世界ともだちプロジェクト」(※4)で担当する国等)についての学習などを行うとともに、区内の競技会場予定地をバスで巡ります。

※1 区内の競技会場配置 オリンピック:11競技 10会場、パラリンピック:8競技 7会場(平成28年12月現在、中央防波堤埋立地内を含む)

※2 江東区オリンピック・パラリンピック教育推進計画:平成29年3月策定予定

※3 パナソニックセンター東京:江東区有明にあるパナソニックグループのショールームで、理数の魅力体感ミュージアム「リスーピア」やオリンピック・パラリンピックについて学べる場を有する施設

※4 世界ともだちプロジェクト:東京2020大会参加予定国を学び、国際交流に発展させる取組で、各小学校5か国、各中学校10か国を担当

◆事業概要

	「部活動☆夢応援プロジェクト」	「パナソニックセンター東京」 との連携教育・競技会場巡り
対象	中学校の部活動(運動部・文化部)	小学校5・6年生
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動単位で部活動に対する「夢」を募集 ○ 各校の代表者により、区長へのプレゼンを行い、意見交換会を実施 ○ 部活動にオリンピックや専門家を招き、直接生徒を指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「パナソニックセンター東京」にて実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック・パラリンピックの基礎学習(起源や聖火などについて) ・ ICTを活用した異国文化の学習・体験 ・ パラリンピック競技の体験 など ○ 区内の競技会場予定地巡り
実施場所	区立中学校(23校) (毎年、各校1部活動で実施)	○ パナソニックセンター東京(有明3-5-1)

**◆他区の状況**

「オリンピック等による部活動指導」及び「パナソニックセンター東京との連携教育・競技会場巡り」は23区初



オリンピック・パラリンピック等について楽しく学べる「パナソニックセンター東京」

長期計画の該当項目: 施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課: 指導室
窓口: 6階4番

電話: 3647-9179
内線: 3386

一時預かりによる子育て世帯への支援

協力家庭によるこどもショートステイ事業を導入

対象年齢、定員の拡大で利用しやすい環境に！

新たな取り組み

事業経費

485万円

◆事業内容

入院や出産・育児不安など保護者の事情によりこどもを養育することが一時的に困難な場合や、児童虐待の防止を図るために、宿泊を伴ってこどもを預かる「こどもショートステイ事業」について、今回新たに、個人の「協力家庭」宅でも事業を実施します。

◆背景・目的

- 現在は、1施設(パークサイド亀島)でショートステイ事業を行っています。
- 転入や核家族化の進展などにより、子育てが周囲から孤立した「孤育て」になっている家庭が少なくないため、こどもを一時的に預かることで、保護者の不安や負担感を軽減し、社会全体で子育てを支えていく必要があります。
- 現在の施設型ショートステイの定員は一日3名ですが、近年利用者が増えていることから、新たに協力家庭においても事業を行うことで、受け入れ児童数を増やします。

◆「協力家庭」概要

	協力家庭	【参考】施設型
運営	協力家庭員への委託	社会福祉法人への委託
対象	1歳～中学校3年生	2歳～12歳
定員	1世帯あたり4人まで	3人
日数	最長6泊7日	
利用料	一日3,000円	



◆「協力家庭員」について

- 区内在住の夫婦であること、居室が2室10畳以上あり、家族構成に応じた適切な広さが確保されていることなどの一定の条件を満たした方です。
- 家庭訪問による面接や区が行う研修を受講後に登録していただきます。
- 協力家庭員として、3名程度の登録を予定しています。

◆特色・効果

- 一般の家庭で預かることで、より家庭的な環境でこどもを預かることができます。
- 兄弟関係や集団生活に馴染めないなど、こどもの状況に合わせて、現在実施している施設型ショートステイと協力家庭で受け入れの調整ができます。

長期計画の該当項目：施策11 地域ぐるみの子育て家庭への支援

担当課：子育て支援課
窓口：3階15番

電話：3647-4407
内線：2710

こどもたちに安全で安心な居場所・生活の場を提供

全小学校で「江東きっずクラブ」を実施

計画を2年前倒して全校実施を達成しました！

事業の拡充

事業経費

16億6,516万円

◆事業内容

平成22年度から開始し、現在39校で実施している「放課後子ども教室機能」(A登録)(※1)と「学童クラブ機能」(B登録)(※2)との連携・一体化事業「江東きっずクラブ」について、平成29年度は新たに6校で開設し、全小学校(45校)で実施します。

※1 A登録: 空き教室を利用し、安全で安心な児童の放課後等の自主的な遊び・学びの場を提供

※2 B登録: 就労世帯等の児童に対して、保護者に代わり放課後等の生活の場等を専用室で提供

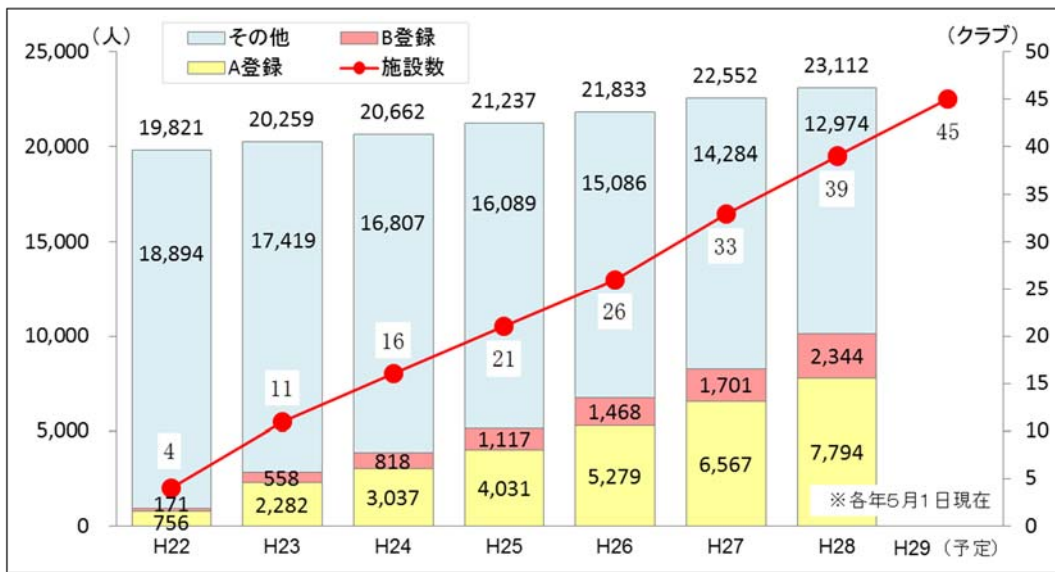
◆目的

共働き家庭等の「小1の壁」の不安を解消するとともに、すべての児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、学校施設を活用し、放課後等に安全で安心して過ごすことのできる居場所・生活の場を提供します。

◆効果・特色

- 平成31年度までに全校実施する計画を2年前倒し、平成29年度に全校実施を達成します。
- 平成28年5月時点で、区立小学校児童23,112人のうち、A登録は33.7%、B登録は10.1%となっています。
- 45クラブ中、37クラブを民営で実施し、民間の発想による柔軟な事業展開を行います。
- 平成28年度に実施したアンケートでは、A登録83.5%、B登録92.8%が「とても楽しい・まあまあ楽しい」と評価されました。

◆「江東きっずクラブ」の推移(きっずクラブ数・登録者数、区立小学校児童数の推移)



安全・安心な居場所・生活の場

長期計画の該当項目：施策12 健全で安全な社会環境づくり

担当課：放課後支援課
窓口：6階10番

電話：3647-9308
内線：3341

増加する児童への対応

平久小・扇橋小・豊洲西小の3校を増築

集合住宅の建設に伴う児童の学習環境の確保に向けて！

新たな取り組み

事業 経費	事業名	29年度	総事業費
	平久小学校増築事業	3,345万円	5億6,287万円
	扇橋小学校増築事業	3,402万円	4億9,272万円
	豊洲西小学校増築事業	0円	21億4,843万円

◆事業内容

- 区内の集合住宅の建設に伴う児童の増加に対応するため、平久小学校・扇橋小学校の校舎の増築計画を進め、平成32年4月からの使用開始を目指します。
- 豊洲地区の児童の増加に対応するため、豊洲西小学校の校舎の増築計画を進め、平成34年4月からの使用開始を目指します。
- 豊洲西小学校の増築用地(既存敷地の北側:約2,600㎡)は、開発事業者から譲渡を受ける予定です。

◆目的

区内の集合住宅の建設が進むことから、児童の良好な学習環境の確保を図ります。

◆整備概要

学校名	所在地	スケジュール	
平久小学校	木場一丁目2番2号	平成29年度 平成30～31年度 平成31年7月	実施設計 工事 竣工
扇橋小学校	石島18番5号	平成29年度 平成30～31年度 平成32年3月	実施設計 工事 竣工
豊洲西小学校	豊洲五丁目1番35号	平成28年度 平成30年度 平成32～33年度 平成33年11月	基本計画 実施設計 工事 竣工



豊洲西小学校(現況)

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：学校施設課
窓口：6階8番電話：3647-9173
内線：3271

学習意欲の向上、主体的に探求する手段の充実

小・中学校にタブレット端末を導入

ICT機器を利用した視覚的にわかりやすい授業を展開します！

新たな取り組み

事業経費

小学校コンピューター教育推進事業	1億5,636万円
中学校コンピューター教育推進事業	7,992万円

◆事業内容

- 区内小・中学校に無線LAN環境を整備し、タブレット端末を導入します。
- 授業での利活用を促進するため、ICT支援員による巡回支援(教員の指導など)を行います。

◆目的

小・中学校においてタブレット端末や電子黒板等のICT機器を利用して、児童・生徒の興味や意欲を引き出す授業、わかりやすい授業づくりを推進していきます。

◆効果

- ICT機器を導入することにより、視覚的にわかりやすい授業を行うことができます。
- 児童・生徒一人ひとりの状況に応じた指導をすることができます。
- 児童・生徒の学習に対する意欲や、ICTスキルの向上につながります。
- 児童・生徒の主体的に探求していく際の手段が広がります。

◆導入の経緯

- 平成28年度に有線LANを小・中学校の普通教室・特別教室等に配備しました。
- 平成26年9月～平成28年8月に行ったモデル事業(小・中学校各1校において無線LAN環境下でタブレット端末を利用)の検証の結果、ICT機器の導入は、児童・生徒の興味や意欲を引き出す授業、わかりやすい授業づくり等に有効であることが確認できました。

◆規模

環境	アクセスポイント:各校14台
タブレット	各校45台 (小学校:計2,025台、中学校:計1,035台)
巡回支援	月2回(1回あたり7時間) ・教員への指導 ・授業の補助



タブレット端末を導入した授業
(イメージ)

◆開始予定

平成29年9月

長期計画の該当項目：施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課：学務課
窓口：6階2番

電話：3647-9176
内線：3334